

平成 22 年 2 月 12 日

各 位

東京都港区赤坂一丁目 1 1 番 4 4 号  
株式会社 リサ・パートナーズ  
代表取締役社長 井無田 敦  
(コード番号：8924 東証1部)

問合せ先 執行役員経営戦略部長 石館 幸治  
電話番号 03 (5573) 8011 (代表)

### 特別損失の発生および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 21 年 2 月 13 日付で発表いたしました平成 21 年 12 月期（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）通期の連結業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の発生とその内容

当社は平成 21 年 12 月期通期決算において以下の特別損失を計上することといたしました。

投資有価証券評価損	1,825 百万円
貸倒引当金繰入額	1,373 百万円
組合清算関連損失	1,252 百万円
投資有価証券売却損	24 百万円

当社が展開する企業投資・債権投資・不動産投資のうち、レバレッジをつかって高収益を追求した大型不動産共同投資は、市況がピークをつけた平成 19 年後半以降投資を抑制していましたが、その後の急速な市況悪化に伴いその投資価値が激減したため、当社の投資持分（不動産保有会社のエクイティ一部分）を全て再評価し、投資持分の簿価を見直した結果、これら投資持分の評価損として投資有価証券評価損を計上することといたしました。また、当該不動産共同投資事業における SPC 及び組合向けの貸付金及び売掛金について貸倒引当金を計上することといたしました。さらに、当該不動産共

同投資事業組合の清算に関連する当社損失負担額を組合清算関連損失として計上いたしております。

これらの結果、大型不動産共同投資関連で 4,279 百万円の特別損失を計上し、他の特別損失と合わせて合計で 4,476 百万円の特別損失を計上することといたしました。

(ご参考)

当社の事業マトリックスにおいて、以下の点線で囲った事業分野が上記特別損失の主たる対象です。

		セグメント		
		プリンシパル投資事業	ファンド事業	インベストメント バンキング事業
ド メ イン	企業	企業投資	ソリューションファンド	コーポレート アドバイザー
	債権	債権投資	地域企業再生ファンド	債権アドバイザー
	不動産	不動産投資	不動産共同投資	不動産アドバイザー

## 2. 通期業績予想の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

### （1） 通期連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,000	5,700	3,500	2,000	6,872円74銭
今 回 修 正 予 想 (B)	19,859	5,092	3,202	△ 2,786	△9,740円55銭
増 減 額 (B-A)	4,859	△ 608	△ 298	△ 4,786	-
増 減 率 (%)	32.4	△ 10.7	△ 8.5	-	-
(ご参考) 前 期 実 績 (平成20年12月期)	24,780	7,991	5,123	△ 2,212	△7,603円59銭
増 減 率 (%)	△ 19.9	△ 36.3	△ 37.5	-	-

#### 売上高の増額の主な要因

金融危機後の厳しい環境にありながらも、債権回収益・ファンド報酬・賃料収入等の安定的な売り上げを確保した事に加え、第4四半期において当社が管理・運営するリサ・コーポレート・ソリューション・ファンドの投資先であるダイレックス株式会社の全株式をサンドラッグ株式会社に譲渡したことおよび、不動産共同投資プログラムの投資物件である新宿三和東洋ビルを、京王電鉄株式会社に譲渡したこと等で、当初予定を 30%強上回る売上高 19,859 百万円を計上いたしました。

#### 営業利益および経常利益の減額の主な要因

プリンシパル投資部門・ファンド事業部門において債権回収益・ファンド報酬・賃料収入等の安定的な売り上げ計上および上記2案件の出口成功により見込み通りの利益水準は確保できたものの、金融危機や景気の不安定化の影響から投資銀行部門での案件取り組みが質量ともに低下し、成約案件が減少した結果、利益率の高いス分野での貢献が不十分となりました。この結果、営業利益は5,092百万円（10.7%減）、経常利益は3,202百万円（8.5%減）となる見込みです。

#### 当期純利益の減額の主な要因

経常利益見込み3,202百万円に対して上記「1. 特別損失の発生とその内容」の通り4,476百万円の特別損失の発生がありましたので、当期純損失見込みを2,786百万円と修正させていただきます。

#### (2) 予想配当

平成21年12月期の予想配当（1株当たり1,500円）に変更はございません。

#### 3. 中長期的な事業ビジョンについて

現在、中長期的な事業のビジョンや計画を策定中であり、確定次第、公表することを予定しております。

※ 上記の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上